



The service club to the YMCA  
**THE Y'S MEN'S CLUB OF**  
**TAKARAZUKA**

宝塚ワイズメンズクラブ  
 〒 662-0977 西宮市神楽町 5-23  
 西宮 YMCA 内  
 Tel (0797)35-5987

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIS EVERY RIGHT

AFFILIATED WITH THE INTERNATION OF Y'S MEN'S CLUBS CHARTERED MAY 22,1988

**宝塚ワイズメンズクラブ 2016年12月会報 第339号**

- 主 題 ・ 標 語  
 国際会長(I P) JOAN WILSON (カナダ)  
 主 題: “ Our Future Begins Today ”  
 「私達の未来は、今日から始まる」  
 アジア地域会長(AP) Tung Ming Hsiao  
 主 題: “ Respect Y's Movement ”  
 「ワイズ運動を尊重しよう」  
 西日本区理事(RD) 岩本 悟 (熊本にし)  
 主 題: 「ワイズ魂で 更なるワイズの活性化を！」  
 “ Energizing Y's Men's Clubs with the Y's spirit ”  
 副 題: 「定例会の充実と活発な奉仕活動でメンバー倍増！」  
 Doubling membership through having substantial  
 Meetings and active service!  
 六甲部部长 長井 慎吾(西宮)  
 主 題: 「楽しい交流とやりがいのある奉仕活動で  
 更なるクラブ活性化を図ろう」  
 宝塚クラブ会長 若林 成幸  
 主 題: 「限らない挑戦で新たな気風を呼び込もう！」

今月のテーマ: EMC-E (会員の獲得強化)  
 その地方で羊飼いたちが野宿をしながら、夜通し羊の群れの番をしていた。すると、主の天使が近づき、主の栄光が周りを照らしたので、彼らは非常に恐れた。天使は言った。「恐れるな。わたしは、民全体に与えられる大きな喜びを告げる。今日ダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになった。この方こそ主メシアである。  
 (ルカ 2章 8~11 節)

2016年12月クリスマス例会

- 日 時 : 2016年12月14日(水)18:00  
 場 所 : 宝塚ホテル チャペル・ゴールド  
 会 費 : 会員5,000円、会員外5,000円  
 第1部 礼拝 司会:石田由美子 奏楽 船木仁美  
 讃美歌 254 「小鳥も飛び去る冬のさなか」  
 聖書朗読 ヨハネ 3章 13~17 節 青柳美知子  
 奨励 「子になる」 東梅田教会 武久 盾 伝道師  
 讃美歌 264 「きよしこのよる」  
 献金 YMCA 同盟「地球市民育成プロジェクト」を  
 覚えて  
 第2部 ミニコンサート ドライバー 石田由美子  
 ダカーポ:浅野知英子・薄 時子・道幸奈津子  
 「カッチーニのアヴェマリア」ほか  
 第3部 祝会 ドライバー 桑田 勝弥  
 開会点鐘 会 長 若林成幸  
 ワイズソング  
 ゲスト・ビジター紹介  
 晩 餐 一 同  
 おたのしみ  
 インフォメーション  
 誕生日記念日  
 閉会点鐘 会 長 若林成幸

2016/17 役 員	会 長 若林成幸 直前会長 鯖尻佳子 副会長 多胡葉子 書 記 武田寿子 会 計 吉田 明 堀江裕一 会計監査 加藤光信 連絡主事 谷川 尚 メネツト連絡 福田素子
事 業 委員長	YMCAサービス・ユース 多胡葉子 地域奉仕・環境 福田宏子・EMC 杉谷和代 交 流 石田由美子 ・ファン ド 堀江裕一 広 報(ブリテン) 長尾 亘 (HP) 長尾 亘
特別事業 委員長	NGO 鯖尻佳子 じゃがいも 福田 肇 バザー 多胡葉子 市民クリスマス若林成幸
お誕生日 おめでとう!	今田和子(24日) 谷川友子(15日)
11 月 実 績	例会出席者数 24 在籍会員数 19名(名誉会員1) 出席会員数 13名 出席率 68.42% メイクアップ(内数) 0名 メネツト 2名 コメツト・孫メツト0名、ゲスト・ビジター9名 BFポイント 11月 3,261円 累 計 16,191円 にこにこBOX 11月 1,000円 累 計 19,500円 ファン ド(物品販売) 0円 累 計 18,750円

## 11月第1例会報告

11月第一例会は11月9日(水)午後6時半より宝塚ホテル、ゴールドの間で若林会長による開会点鐘で始まりました。ワイズソング、ゲストスピーカーの紹介、聖書朗読、祈祷に続いて報告がありました。多胡メンから「きらりと輝くアート



展」について、石田メンからは第21回西日本区大会の準備について。また12日開催の六甲部部会、12月22日の市民クリスマス「キャロルを歌う夕べ」のついでに報告もありました。報告後皆で楽しく会食しました。その後、ゲストスピーカー大類隼人氏による「国際保健の世界、私が信じる世代の仕事」を聴きました。

外科医、また救命救急医として京都、神戸の病院で勤務。

その間に東日本震災や東トルコ地震での救命医療活動に参加。2011年には国際



医療資源NGO「Future Code」設立。2012年には兵庫医科大学を退職し、海外での医療活動などに取り組んで来られました。バングラディッシュでの孤児院での健診、ハイチでの結核健診、西アフリカでのマラリアの対策。その変わらぬ理念と行動力に一同大変感銘しました。深刻な貧困故に健診しなければこの国の人には救えないと2013年から結核健診スタート。現地指導の大切さを思われたようです。誰も置き去りにしない地球規模ですするという大類氏の言葉に感動が会場を包みました。相互理解の先に確かな平和があると云われたことが印象に

残りました。

お誕生日祝いの後閉会点鐘で第一例会は感動冷めやらぬうちに終わりました。

鯖尻佳子

## 11月第2例会報告

日時:11月16日(水)18:30~20:45

場所:宝塚西公民館

出席:若林、吉田、長尾、多胡、鯖尻、石田

### 1. 例会運営の確認

① クリスマス例会(12/14)の役割;礼拝/ミニコンサートの司会は石田メン、祝会の司会は谷川連絡主事。会費は会員/ゲスト共に¥5,000.

② 第2例会は通常通り12/21の予定、場所未定。キャロル前日で変更可能性あり。

③ 12月~2月例会案内チラシ作製した。

④ 3月以降のゲストスピーカー候補は、3月予定、4月未定

⑤ 3月予定者・若林寛之(若林メンの弟) 北朝鮮の経済概念

その他青柳メン紹介のダイバー、草野修さん

### 2. 2018年西日本区大会について

11/07、神戸YMCAで第2回準備委員会を開催。実行委員会の組織図(案)を作成した。各クラブ持ち帰ってクラブの承認をとる。

### 3. 六甲部部会、メネットアワーを振り返って

第2部、「クラブ活性化シンポジウム」で長井慎吾部長のプレゼンテーションは興味深かった。宝塚クラブは高齢化が目立ちEMC強化が必要。

### 4. 各委員会報告

① じゃがいも301個完売。現在4個(¥8,800)が足りない。

② きらりと輝くアート展は11/19に開催

③ 市民クリスマスに関学神学部学生連盟が

朗読とページェントで出演。

多数の観客が見込める。

- ④六甲部部会で開催支援金を募った所、約¥27,000.の献金が集まった。感謝。
5. 宝塚クラブ 30周年記念例会について  
2018年六甲部部会で該当クラブは合同で開催出来るか持ちかけてみる。
6. ブリテン 締切 11/28. 校正 11/30
7. 会計担当吉田メンより神戸 YMCA  
新館建築募金に献金、又、支援団体への寄付を済ませたと報告あり。
8. 次期会長選出の件 12月末には決定しておかなければいけないが、第21回西日本区大会実行委員会に6名出しているの難しい現状を確認した。

### 会長より一言

11月は、チャリティー・ラン、六甲部会、きらりと輝くアート展と毎週の大きな行事が続き、準備・本番において多大な苦勞をかけました。また、例会においては大類隼人氏の世界の各地に存在するスラム、そこに置き去りにされた子どもの現実を学ぶとともに、国際医療支援に乗り出した若い医師の活動に感動を覚え、早速、クラウドファンドのバン格拉デシュ病院再建の募金に応じました。バン格拉デシュは、50年程前に義父が製鉄所建設のために派遣されたところで、最新技術の工場を作ったものの、日本人技術者が去った後の人材の育成を案じていました。

11月12日には元町のラッセホールにて第15回六甲部部会が行われました。六甲部から73名、西日本区から岩本悟理事をはじめ、他クラブから53名、合計126名が参加し、「我々の足下を着実



に」をテーマに、長井六甲部長による六甲部各クラブ会員の年齢構成分析、各クラブの自慢の活動紹介、メンバー増強のための意見交換が行われ



ました。意見発表の中で、高齢化によりクラブ維持に苦勞している現実やあきらめずに頑張ってい



るクラブの例が示され、我がクラブの数年先を想像して冷や汗を流すことに。EMC増強の名案はなくても、例会を維持し、クラブ毎に個



性ある活動を発信し続けることが唯一の解決策となることが示されたように思われました。その後、賑やかに懇親会となり、花組を中心に、「しあわせ運べるように」の合唱とフラで宝塚の元気を演出しました。

それぞれに出合いがあり、所期の成果が得られたことを喜びたいと思います、感謝。

若林 成幸

### 六甲部部会の前に メネット会が有りました。



例会ゲスト・プロフィール

○リコーダー 浅野 知子 氏  
相愛大学音楽部管楽器専攻  
リコーダー科卒



○ヴァイオリン 簿 時子 氏  
獨協大学外国学部卒  
長年アマチュアオーケストラ  
でヴァイオリンを演奏



チャリティー市民クリスマス  
キャロルを歌う夕べ

来る12月22日(木)、宝塚ベガホールにて第12回「キャロルを歌う夕べ」を開催します。大勢の方々の来場をお待ち申し上げます。

今回は、関西学院大学神学部の学生有志が初参加。神学生らしい地域活動に挑戦したいという希望を受けて、降誕物語の朗読とページェント(衣装を着けて無言で聖書の場面を表現)に出演してもらいます。どんな工夫が見られるか楽しみです。

出演者は、このほか幼稚園児、ポップン・リンガーズ、アンサンブル・ダカーポ、さんだワイズ有志のベル、関学フラチーム・マハロ、臨時編成の合唱団など、100人超の方々が出入りし、会場も楽屋も混雑が予想されますので、ワイズの皆様の協力が欠



かせません。別紙の役割分担表をご観くださり、無理のない範囲でお手伝いくださるよう、宜しくお願いします。

市民クリスマス実行委員会

キラリと輝くアート展  
ー臨床美術をたのしもうー

第三回目のアート展がワイズメンズクラブ六甲部CS事業として11月19日(土)午後1:00~5:00に日本キリスト教団須磨教会のホールで開催された。

今回のアート展は主にCS事業主査さんだクラブの安行暁子ワイズ、宝塚クラブの福田素子メネット、

多胡、神戸ポートクラブの大野智恵会長が関わり事業を進めた。



はんしん

自立の家で臨床美術教室で描かれた作品の数々、とカレッジ・アンコラージュで活動されている方々の作品が展示された。

当日の主な事業として講師を臨床美術士の佐藤晴奈氏による臨床美術体験を実施した。

知的障害のある子供さんとそのご両親の2家族6

人、はんしん自立の家の入居者の2人とスタッフ、カレッジ・アンコラージュのメンバー4人と



障害のある方々に美術指導をされている方が2人の合計16人が体験した。

りんごを画材にそれぞれが先生の魅力的な指導

のもと素晴らしい作品を仕上げていかれた。特に感動したのは家族で参加された6人の方々の作品。お子さんを中心に暖かく包み込まれる雰囲気を出した作品が出来上がっていたことだった。まさに臨床美術の考え方の「いてくれてありがとう」が表現できたのではと感じられた。そして参加者の皆様方がご自分の作品を満足げな笑顔でながめておられたことが印象的だった。

同じ場所で神戸ポートクラブの主催された難病FOP患者の山本育海君の支援チャリティも開催され、約200人の方々が参加され、その方々の一部もアート展を鑑賞された。小さなイベントでも続けることの大切さを今回も感じさせられました。

多胡葉子

## 第19回神戸YMCA チャリティーラン

「あなたが走るとハッピーになる子供たちがふえます」を合言葉に第19回神戸YMCAチャリティーランが神戸市しあわせの村運動広場で開催された。

晴天に恵まれ賑やかに子ども、大人の歓声が広場の芝生いっぱいになり、約2,000人が参加してそれぞれの分野で楽しんだ。

宝塚ワイズは今年もカップラーメン、とお汁粉を100円で販売。手馴れた作業で100円を握って買いに来る子どもたちに「熱いから気をつけてね。ラーメンは3分待ってよ」とお昼過ぎには完売。収益金7,700円を献上した。

グループランへの参加は「ハナグミ」と名して武田、石田、鯖尻、多胡、の女性陣と総監督若林会長の5人。秋の紅葉の始まりかけた2キロの運動広場周辺の自然を愛で、年々見事になるコスチュームをつけた多くのチームを絶賛しながら、抜かしたり、抜かされたりして走るランナー達に声かけをし、



楽しく5人手を繋いでゴールをした。最後は全員恒例のラッフル券当選発表に握りしめたチケットをドキドキしながら当選番号とにらめっこ。



そして閉会の挨拶と収益金2,603,155円との発表があり今年も障がい児・者のプログラムに使われることを報告され All 神戸 YMCA 大イベントが盛況のうちに終わりました。

多胡葉子

## 【今月のみ言葉】

ルカ福音書によると、イエスが誕生した夜、その知らせを最初に受けたのは、ベツレヘム界隈の地で野宿しながら夜通し羊の群れの番をしていた羊飼いたちでした。羊飼いは当時一般に卑しい職業と見なされ、否定的なイメージで捉えられていたようです。しかしその一方で、聖書において羊飼いはイスラエルの民を守り導く神のイメージで肯定的に捉えられており、実際、イスラエルの指導者であったモーセも、ベツレヘムと関係の深いダビデも、もともと羊飼いでした。

さて、羊飼いたちのところへ主の天使(ガブリエル)が近づき、神の栄光が彼らの周囲を照らしたため、彼らは非常に恐れたということです。ここでは、暗闇の中に光が現われる状況が描写され、まさに光と闇とのコントラストが描かれています。そして、恐れる羊飼いたちに対して、天使はまず「恐れるな」と語りかけ、民全体に与えられる大きな喜び、すなわち、救い主誕生の出来事を告知しますが、これにより羊飼いたちの恐れは取り除かれ、恐れは喜びへと変えられていきます。天使はここで羊飼いたちに、「今日ダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになった」と語っていますが、これ

らの貧しい羊飼いたちのために救い主が誕生したということは、この救い主が私たち一人一人のためにも誕生したということを示しています。アドベントの季節、このことを改めて心に留め、その降誕の日を待ち望みつつ歩んでいきたいと思えます。

嶺重 淑

YMCA だより



アドベントの時を迎え、YMCAでも保育園、幼稚園では、園児がクリスマス礼拝の準備を行っています。主イエス・キリストをこの世に遣わされた神の御心を覚え、子どもたちはメッセンジャーとして保護者の前でイエス生誕劇を行ったり子どもたちにとっても貴重な経験となるクリスマスとなります。

そして新年を迎えるといよいよ神戸YMCAに、第5代目となる神戸YMCA三宮会館が与えられます。新たな会館は、高齢者施設との協同という、この時代に必要とされる場として活動していく予定です。またお披露目の機会をYMCAを支えてくださるワイズの皆さんとともに過ごしたいと思っていますのでよろしくお願いします。

クリスマスにあって、ワイズの皆さんに、YMCAに集うすべての人に、そして世界中の人に、豊かな祝福が与えられますように。

## 1. 神戸市民クリスマス

まもなく、主の降誕を待ち望むときとなります。今年度も神戸YMCAは神戸市内のキリスト教諸教会と一緒に「第58回神戸市民クリスマス」を行う中で、祈りと喜びを共にする時を持ちます。エキュメニカル(超教的)なかかわりによって、様々な方々が、共にキャロリングを行ったり、祈りと祝福のときをもっている姿は幻想的かつ平和を思える貴重な時間となることでしょう。

ぜひ多くの方にご参加ください。

日時:12月16日(金)夕刻～

場所:メイン会場はカトリック神戸中央教会  
(プログラムによって集合場所が違います)

詳細は [www.kobeymca.org/shiminxmas/](http://www.kobeymca.org/shiminxmas/)

## 2. YYフォーラム

ワイズ、リーダー、とYMCAの核となってYMCA運動を行ってくださる方々が一堂に集まって、社会に必要とされること、そしてYMCAのこれからの歩みを語り合う「YYフォーラム」を新年に行おうと有志で企画をしています。昨年度はブランディングの一つとして「YMCAの宝探し」と題して様々な話しをしました。今年度も引き続き、ブランディングをテーマに進めていこうと検討中です。ぜひ多くの方にお集まりいただけますようお待ちしております。

日程 2017年1月28日(土)

時間 13:00～17:00(予定)

場所 神戸栄光教会

神戸市中央区下山手通り4丁目16-1

対象:YMCAに関わる全ての方

参加申し込みについてはまた1月にご案内いたします。